

第39回全日本私立幼稚園連合会 設置者・園長全国研修大会

開催要項

- **テーマ** こどもがまんなかの幼児教育の充実・発展を考え合う
～社会状況の変化を乗り越える園を目指して～
- **期 日** 令和6年10月28日(月)・29日(火)
- **会 場** 奈良県奈良市・ホテル日航奈良
〒630-8122 奈良市三条本町8-1 ☎0742-35-6812
※ JR奈良駅(西口)直結/近鉄奈良駅または近鉄新大宮駅から徒歩約12分/
関西国際空港または大阪国際空港(伊丹空港)からJR奈良駅行きリムジンバス約90分
- **形 式** 対面形式(オンライン配信はございませんのでご留意下さい)
- **対 象** 設置者・園長ならびに後継者、またはこれに準ずる者
- **定 員** 600名(定員になり次第締め切らせていただきます)

	12	13	14	15	16	17	18	19	20
28日(月)		50		30 45	45				30
	受付	開会式	記念講演	行政報告①	行政報告②	休憩	懇親会		

	8	9	10	11	12
29日(火)		30			
		分科会 受付	分科会		※分科会終了後、自由解散



主催 / 全日本私立幼稚園連合会

協力 / (一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構、奈良県私立幼稚園連合会

後援 / 文部科学省(申請中)、こども家庭庁(申請中)

【第1日】 / 10月28日（月）

12:00～13:00 受付

13:00～13:50 開会式

14:00～15:30 記念講演 「大仏さまと子どもたち」

【講師】 奈良国立博物館名誉館員 帝塚山大学客員教授
東アジア仏教文化研究所代表

にしやま あつし
西山 厚 氏

（略歴）

徳島生まれの伊勢育ち。京都大学大学院博士課程修了。奈良国立博物館で学芸部長として「女性と仏教」など数々の特別展を企画開催。主な著書に『仏教発見！』（講談社現代新書）、『僧侶の書』（至文堂）、『語りだす奈良 118の物語』『語りだす奈良 ふたたび』『語りだす奈良 1300年のたからもの』『仏像に会う 53の仏像の写真と物語』（いずれもウェッジ）など。さまざまなメディアを通して、生きた言葉で書き、語る活動を続けている。令和5年秋の叙勲「瑞宝双光章」受章。

15:45～16:45 行政報告① 「幼児教育の現状と課題」

【講師】 文部科学省 初等中等教育局 幼児教育課 担当官

17:00～18:00 行政報告② 「保育政策ならびに行政の動向について」

【講師】 こども家庭庁 成育局 成育基盤企画課 担当官

19:00～20:30 夕食懇親会

本大会の内容については、全日私幼連ホームページ (<https://zennichishiyouren.com>) からもご覧頂けます。

9:00～12:00 研究講座

1. 教育 『幼児教育における質の評価について考える』

幼児教育の重要性が様々な研究結果によって明らかとなり、社会全体がこどもをまんなかにした社会づくりを目指す令和時代。その核を担う幼稚園等は、幼児教育の質の向上に向かって地道に実践を積み重ね、自園での取組がその地域全体の幼児教育の質につながるよう研鑽に励む日々です。一方で質と評価はどの分野においても必須事項ではありますが、建学の精神を基に多様な環境の中で営まれる幼児教育の現場においては、カリキュラムの評価や、保育者の日々の実践の評価においても共通の指標で評価することが難しいという特徴があり、数々の課題を有しているのが現状です。その中で、(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構は「公開保育を活用した幼児教育の質向上システム (ECEQ®)」を開発し、保育者同士の語り合いによって質の向上を目指す取組により、保育の質の向上を考えてきました。

このたびの講座では「質と評価」に焦点を当て、園内研修や園長・リーダー研修の取組と「質と評価」、またECEQ®の質的検証を踏まえ、日本独自の評価スケールの在り方等についても考え合う時としたいと思えます。幼児教育の質向上のためには欠かすことのできない「評価」。皆様のご参加をお待ちしております。

基調講演Ⅰ (仮) 園内研修と園長のリーダーシップについて考える			
【講師】	武蔵野大学教育学部幼児教育学科	教授	箕輪 潤子 氏
基調講演Ⅱ (仮) 『公開保育を活用した幼児教育の質向上システム (ECEQ®) の質的検証』から見えてきたこと			
【講師】	東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP)	准教授	野澤 祥子 氏
シンポジウム 幼児教育における質の評価について考える			
【シンポジスト】	武蔵野大学教育学部幼児教育学科	教授	箕輪 潤子 氏
	東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP)	准教授	野澤 祥子 氏
	(一財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構	副理事長	宮下友美恵 氏
	(一財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構	副理事長	安達 讓 氏
【コーディネーター】	(一財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構教育研究委員会	委員長	岡本 潤子 氏

2. 振興 『こども誰でも通園制度で何が変わる？ こどもの成長を目的とした新たな預かり事業へ～地域のプラットフォーム、ハブとしての存在に～』

『こども誰でも通園制度』の試行的実施が全国で始まりました。本制度はこども未来戦略方針において創設が打ち出された制度で、0歳6ヶ月～2歳児の未就園児が対象で親の就労に関係なく預かる事業です。令和8年度からは給付制度への移行が位置付けられています。

切れ目のない子育て支援対策として考えられていますが、国の中長期的なビジョンはさらに広く、包括的な意義も込めています。こどもの良質な育成環境を整備し、親子のウェルビーイングの観点から「こどもまんなか社会」を目的とし、中長期的には“地域のプラットフォーム・地域のハブ”としての位置づけを担うことも視野に入れています。

一時預かりや親子登園等との違いはどのようなものになるのか？当講座では私学助成園の親子教室の事例を通し、こどもの成長を目的とした預かり事業とは何かをみなさまと考えたいと思えます。

第1部 「こども誰でも通園制度」解説			
【講師】	文部科学省初等中等教育局幼児教育課	担当官	調整 中
【講師】	こども家庭庁成育局成育基盤企画課	担当官	調整 中
【コーディネーター】	全日本私立幼稚園連合会政策委員会	委員長	石田 明義 氏
第2部 「こども誰でも通園制度」中間報告、「私学助成園の親子教室」事例報告			
【講師】	全日本私立幼稚園連合会	副会長	内野 光裕 氏
【講師】	全日本私立幼稚園連合会政策委員会	委員長	堂山 宗敬 氏
【コーディネーター】	全日本私立幼稚園連合会政策委員会	委員長	石田 明義 氏

3. 経営 『リテンション&ワークプレイス・イノベーション～選ばれる園づくりのエッセンス～』

近年、幼児教育・保育の現場では人材確保と定着が大きな課題となっています。養成校への入学者数減少、卒業生の業界離れ、若手教職員の職場への愛着心の希薄化など、様々な問題が顕在化しています。また転職のCMも増え、人材の流動性が高まっています。

このような社会環境の中、優秀な人材を確保し定着させるためには、従来の労務管理の枠を超えた、包括的なアプローチが必要ではないでしょうか。具体的には、キャリア形成支援、働き方改革、ICT活用、評価・給与体系の見直し、組織文化の変革、メンタルヘルスケア強化など、その項目は多岐に渡りますが、教職員が誇りとやりがいを持って長く働ける環境を創出することが、選ばれる園づくりの鍵となります。

この度の講座では人材確保に視点を当て、特に職場定着の為に何が出来るのか、労務管理の観点から皆さんと一緒に考えていきたいと思います。たくさんのご参加をお待ちしております。

第一部 基調講演「持続可能な園経営～職員が育ち定着するマネジメント～」			
【講師】	株式会社福祉総研 KYOSTA コンサルチーム	社会保険労務士法人財総研 園のコンサルタント/特定社会保険労務士	安岡 知子 氏
第二部 ケーススタディ「選ばれる職場になるために～職場定着のために行うべき職場改革～」			
【講師】	弁護士法人梅ヶ枝中央法律事務所	弁護士	岩田 和久 氏
	社会保険労務士事務所ネクサス労務コンサルティング	代表/特定社会保険労務士	安本 達也 氏
	学校法人北山学園くずはローズ幼稚園	理事長・園長	北山 展弘 氏
【コーディネーター】	全日本私立幼稚園連合会経営研究委員会	委員長	佐々木慈舟 氏

4. 認定こども園 『0.1.2歳児の保育・教育を考える～幼稚園由来の園としての学びへのアプローチなど～』

平成27年に子ども子育て支援新制度が施行され、まもなく10年が経過します。全日私幼連加盟園も半数以上が施設型給付や認定こども園に移行し、今後移行する園が増加すると考えられます。

令和に入り全国ほとんどのエリアで出生数が加速的に減少する一方、低年齢児からの入園を希望する人は増加し、2,3号認定の園児の割合も増えてきています。認定こども園移行時に多くの園が初めて0.1.2歳児の保育を行うこととなりますが、幼稚園由来の園として、乳児期の保育と養護を基盤としつつも、3歳以上の育ちを見通したこの時期ならではの育ちの大切さを見つめ、保育・教育の質の向上に努めていかなくてはなりません。

本講座では、まず京都大学大学院教授・明和政子先生より、ヒトの脳と心の発達を科学的にとらえ、胎児期からの発達の連続性や感受性期も踏まえて保育・教育の重要性に関する講演を頂き、後半ではパネラーの先生から0.1.2歳児保育に取り組む上での苦労や諸問題、幼稚園由来だからこそ大切にしてきたことを報告頂き、保育・教育の質を考えていきたいと思います。

第1部 基調講演「生涯にわたる心身の健康はこども期につくられるーこどもが育つために必要な環境を脳科学の視点で考えるー」			
【講師】	京都大学大学院教育学研究科	教授	明和 政子 氏
第2部 パネルディスカッション			
【パネリスト】	全日本私立幼稚園連合会	認定こども園委員会 副委員長	鮎川 剛 氏
	全日本私立幼稚園連合会	認定こども園委員会 委員長	吉田耕一郎 氏
	全日本私立幼稚園連合会	認定こども園委員会 委員長	木内 啓嗣 氏
【コーディネーター】	全日本私立幼稚園連合会	認定こども園委員会 委員長	徳本 達之 氏

参加申込方法

■参加費 18,000 円

■懇親会費 10,000 円（自由参加、28 日開催）

- 参加を希望される方は、ゆたかなまナビよりお申込み下さい。ゆたかなまナビに教職員登録をされていない方は、本研修大会のお申込みができませんのでご留意下さい。お申込みの詳細につきましては、全日本私立幼稚園連合会ホームページ (<https://zennichishiyouren.com>) からご確認下さい。
- お申込みの締切は **9月27日(金)** とさせていただきます。
- 申し込み締切後、大会及び懇親会の申し込みをキャンセルされた場合、参加費及び懇親会費の返金はいたしません（代理参加可）。
- お申込みいただいた方には、10月中旬までに大会参加券等を郵送にてご案内いたします。
- 宿泊のご案内は「宿泊プランのご案内」をお目通しいただき、直接 JTB 宿泊サイトからお申込みください。宿泊のお申込みの締切は **9月23日(月)** とさせていただきます。
- 宿泊の取り消しに伴う返金につきましては、JTB の規約に基づきます。

■個人情報の取り扱いについて

申込時の登録情報は、本研修会の参加者名簿や参加受付証等発送など、本研修会の運営・管理の目的に限り使用します。また、研修会の当日大会資料（名簿）に「氏名」「都道府県名」「園名」を掲載します。なお、本研修会に関する業務を株式会社 JTB ビジネスソリューション事業部第六事業部と株式会社マツヤマクリエーションに委託し実施するため、上記の目的の範囲に加え、宿泊手配等のサービス提供を目的として情報を共有します。

★参加の方法、研修内容はこちら

Tel. 03 - 3237 - 1080
Fax. 03 - 3263 - 7038
Mail : info@youchien.com

全日本私立幼稚園連合会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25
私学会館別館 4 階（担当：山中、佐藤）

★宿泊のお申込みは下記 URL

または QR コードから

<https://n-tabeat.jtb.co.jp/tabeat/List.aspx?tourno=4f5fcd4de48e4b428debd47>



株式会社 JTB

『第 39 回設置者・園長全国研修大会』係

〒100-6051 東京都千代田区霞が関 3-2-5
霞が関ビルディング 23 階
Tel. 03 - 6737 - 9303（担当：宮本、池田）